

目 次

JNLT の能動光学	家 正 則・山下泰正	308
銀河ダイナモ —銀河の磁場はどのように作られるか?—	土 佐 誠	314
Astronomical Society of the Pacific の Centennial Meeting	江 上 英 一	319
天文学最前線……ハレー彗星のメタン (太陽系の起源についての観測)・明るいX線新星 GS2000+25 の 発見・ヘリウム型新星のさいの質量放出・大光度赤外銀河 Arp299 におけるスターバ スト		322
雑 報……第2回ワイオミング会議 “The Interstellar Medium in External Galaxies” 報告・大型 光学赤外線望遠鏡による太陽系科学ワークショップ報告		325
お知らせ		326
学会だより		327
日本に影響を与えた中国の天文暦学者 (6) 梅文鼎		330

—表紙説明—

星像の大きさと星の見え方。通常のアスタロイドでの典型的な 3'' の星像 (左上)、現在のハワイの望遠鏡での典型的な 1'' の星像 (左下)、JNLT での 0.3'' の星像 (右上)、JNLT の波面補償光学が実現したときの 0.1'' の星像 (右下)。(p. 308 家氏記事参照)

限定覆刻版! 発売中!

東洋天文学史論叢

能田忠亮著

推薦 藪内清

能田忠亮博士の名著は、早くも絶版となり、中国天文学史に関心を持つ方々から渴望されてきたが、五十年を経た今日に覆刻される運びになった事は、誠に喜ばしい。私自身は昭和十年に東方文化研究所に入り、先生の指導を受けた。学問については厳正な考証を尊ばれたが、平生の態度はまことに春風和煦たるものであり、正に大人の面影があった。先生は新編先生の遺志を継がれ、東洋天文学史の研究を進展された。この方面について京都が世界の中心となった現在の基礎を築かれたものであり、本書は正にその記念碑といえよう。(本書の覆刻に当ってより)

●主な内容目次●

●周髀算經の研究
周公尚高の問答/宋も陳子の問答/七衡六間及び日之南北行/蓋天経と恒星の理/北極星の歳時/各星の位置/恒星の相連/立二十八宿以前/天象の法/太陽五緯之度/八節二十四節/月不及故舎之度數/日月之法/曆法/欲知度所分法術之所生/曆算經研究の概要/付録

●漢代論天啟
古代の論天/周髀の法と天/古経に見えたる周髀の法/蓋天の論天/蓋天の法と天/蓋天の論天/蓋天の法と天/蓋天の論天/蓋天の法と天

●秦の改時改月説と五星聚井の辨

序論/五星聚井に関する従来の諸説/五星聚井の意味/改月説と非改月説/結語

●詩經の日蝕

緒言/毛伝と鄭箋/従来の諸説/最近の論説/要義・結論

●禮記月令天文啟

緒論/月令の時月/二十四節/二十八宿及びその広度と距離/昼夜各日の時刻/月令の天文の経緯年代算定/月令より觀たる禮記の天文/月令の天文に関する古来の諸説

●夏小正星象論

緒論/夏小正について/夏小正に見えたる星象記事/月令より觀たる夏小正の星象中及び見伏について/斗柄星在下/南門正及織女星正東比鄰/要旨概括

AS判/六八頁/上製函入
定価二二、三六〇円/本体二二、〇〇〇円

〒160 東京都新宿区三栄町8 恒星社厚生閣 TEL 03 (359) 7371 FAX 03 (359) 7375

バックナンバーのお知らせ

星の手帖 季刊天文誌

編集委員=小尾信弥・古在由秀・藤井 旭・村山定男

VOL-1 480円品切 特集現代の宇宙論	VOL-9 550円 特集自作望遠鏡
VOL-2 480円品切 特集銀河系	VOL-10 550円 特集天体基礎知識
VOL-3 480円 特集天文学者	VOL-11 550円 特集オリオン座
VOL-4 480円 特集太陽系	VOL-12 550円 特集大口径反射望遠鏡
VOL-5 480円 特集天体写真	VOL-13 550円 特集入門天体写真
VOL-6 550円 特集日本の天文学者	VOL-14 550円 特集新星
VOL-7 550円 特集小型天体望遠鏡	VOL-15 550円 特集太陽
VOL-8 550円 特集天文学最前線	

送料250円

VOL 1・2品切れになり再版の予定ございません。

●残部僅少ですので、直接本社へ送料・定価分の切手同封の上お申し込み下さい。

河出書房新社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2
TEL.03-404-1201 振替東京 0-10802